

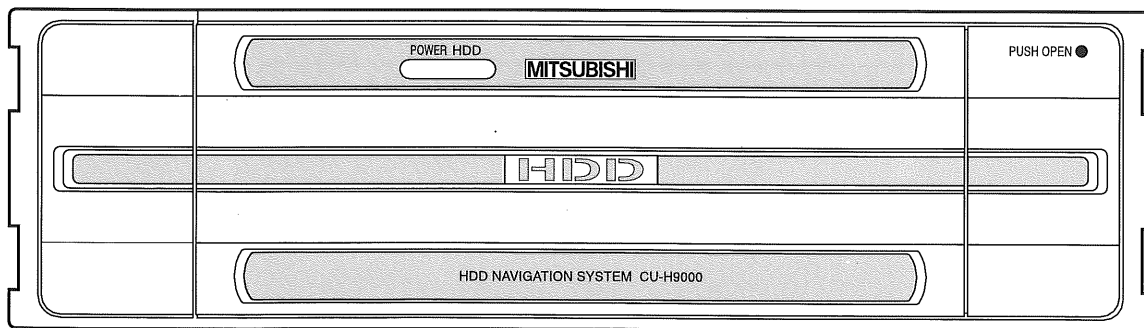
MITSUBISHI

CAR NAVIGATION SYSTEM

MODEL

CU-H9000シリーズ (製品型名
CU-H9000, CU-H9000VP)

取付要領書



目次

はじめに

ご注意とお願い	2
---------------	---

取付要領

ナビゲーションユニットの取り付けかた	5
ディスプレイアダプターの取り付けかた	7
テレビチューナーの取り付けかた	8
マイクの取り付けかた	9
ディスプレイの取り付けかた	10
GPS アンテナの取り付けかた	13
テレビアンテナの取り付けかた	14
リモコン受光ユニットの取り付けかた	17
ナビゲーション本体用リモコンの取り付けかた	17
ハンドルリモコンの取り付けかた	18
ハンドルリモコンの電池交換	18

接続要領

接続のしかた (CU-H9000 の場合)	19
接続のしかた (CU-H9000VP の場合)	21
接続のしかた システムアップ例 (CU-H9000 : 当社製 TV/MD センターユニットを使用する場合) ...	23
接続のしかた システムアップ例 (CU-H9000VP)	25
コネクターの脱着について	27
ブレーキ信号の取り出しかた	27
車速信号について	27
圧着式コネクターの使いかた	28
ショートピンの使いかた	28
リバースコードを接続する	28

接続確認

接続確認のしかた (動作チェック)	29
-------------------------	----

付属品	裏表紙
-----------	-----

ご注意とお願い

●取り付けおよび接続作業の前に「取付要領書」をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。


製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに取り扱い上の注意点を記載しています。

絵表示は次のような意味を示しています。

正しい取付け
正しい操作で
安全運転



 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。



してはいけない「禁止」の行為を示します。



必ず実行していただく「強制」の行為を示します。



「注意」(警告を含む)を示す内容を示します。



警告

安全上お守りいただきたいこと

取り付け・配線について



禁止

24V車で使用しない

- 本機はDC12V \ominus アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



禁止

運転操作を妨げる場所に取り付けない

- 前方の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。



禁止

エアバッグ動作を妨げる場所には取り付けない

- エアバッグシステム装備車の場合は、エアバッグシステム動作の妨げになる場所に取り付けしないでください。交通事故の際、エアバッグシステムが正常に機能せず危険です。

ご注意とお願い (つづき)



禁止

保安部品のボルトやナットは使用しない

- 車体のボルトやナットを使用して機器を取り付けたり、アースをとるときは、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、事故や発火の原因となります。



注意

燃料タンクなどに穴をあけない

- 車体に穴をあけるときは裏側に何も無いことを確かめ、燃料タンクなどに穴をあけないように注意してください。また配線を傷つけないように注意してください。



実施

バッテリーを接続したまま配線しない

- 配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。⊖端子を外さずに作業するとショート事故による感電やけがの原因となります。



禁止

タコ足配線をしない

- 電源コードの被覆を破って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。コードの電源容量をオーバーし、火災、感電の原因になります。



実施

コード類はまとめておく

- コード類は運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。



実施

規定容量以外のヒューズを使用しない

- ヒューズが切れたときは、規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



実施

すべての電装品の動作を確認する

- 取り付けと配線が終わったら、すべての電装品が元通り正常に動作することをお確かめください。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。



分解禁止

分解、改造はしない

- 機器を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



注意

安全上お守りいただきたいこと

取り付け・配線について



実施

本機の取り付け・配線には、専門技術者に依頼する

- 取り外し、取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため必ず「お買い上げの販売店」に依頼してください。



禁止

本機を車載用として以外は使用しない

- 感電やけがの原因となることがあります。



実施

説明書の指示に従い配線する

- 「取付要領書」の指示に従い配線してください。正規の接続を行なわないと、火災や事故の原因となることがあります。



禁止

高温になる所へは取り付けない

- 熱の影響を受けやすいヒーターの吹き出し口の近くには取り付けないでください。機器が加熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

通風孔や放熱板をふさがない

- 機器の通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



実施

指定以外の部品を使用しない

- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



注意

コードのはさみ込みに注意する

- 車体やねじ部分、シートレール等の可動部にコードをはさみ込まないように注意してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。



実施

コードの被覆を傷めない

- 車両部品のバリ(部品加工時にできる鋭利な突起)や鋭利な場所にコードが接触する場合は、コードの被覆を傷めないように必ずクッションテープなどで保護してください。火災や感電の原因となることがあります。



禁止

本機を不安定なところに取り付けない

- 本機を振動の多いところなど、しっかりと固定できないところに取り付けしないでください。走行中に機器が落下するなどして、事故やけがの原因となることがあります。



実施

エアバッグ装着車は、車両メーカーの注意事項をよく確認する

- エアバッグが誤動作する原因となることがあります。



実施

アンテナは車長、車幅からはみ出さない

- アンテナはエレメントが車幅または、車の前後からはみ出さない場所を選んで取り付けてください。歩行者などに接触して思わぬ事故の原因となることがあります。



実施

アンテナは、確実に固定する

- テレビアンテナの取り付け場所は、きれいに拭き取ってください。また、フッ素樹脂コートされたボディ、ガラス及び再塗装されたボディに両面テープで貼り付けしないでください。走行時の振動等でアンテナが外れて落下し、思わぬ事故の原因となることがあります。



注意

アンテナコードの車内への引き込みには十分気をつける

- 雨、水が車内へ浸水すると車内を汚染し、火災の原因となることがあります。



注意

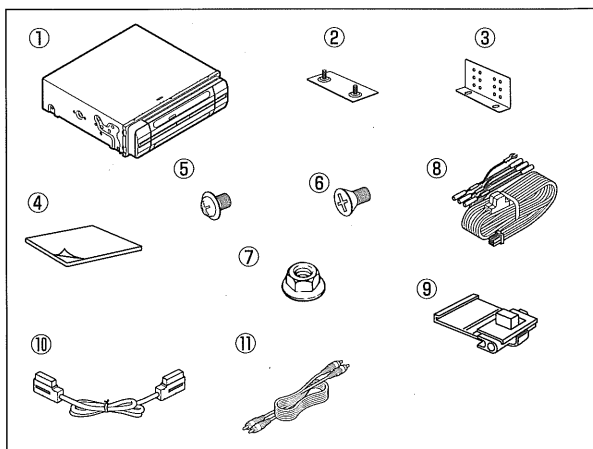
水のかかるところやほこりの多いところへは取り付けない

- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。機器内部に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

ナビゲーションユニットの取り付けかた

構成部品

- ①ナビゲーションユニット……1
- ②取付ベース……………2
- ③取付ブラケット……2
- ④両面接着テープ……2
- ⑤カップスクリュー(M5×8)……4
- ⑥サラネジ(M5×8)……4
- ⑦六角ナット(M6)……4
- ⑧電源コード(ナビ本体用)……1
- ⑨圧着式コネクター……3
- ⑩接続コード……………1
- ⑪ピンプラグコード……1
(CU-H9000のみ)



取り付けかた

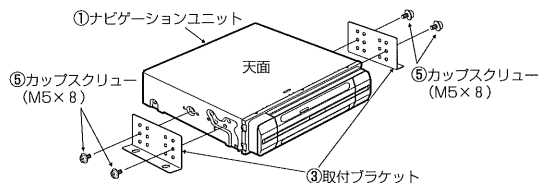


禁止

●本機に強い衝撃を与えないでください。落下したりたたくなどして機器に衝撃が加わると故障の原因となることがあります。

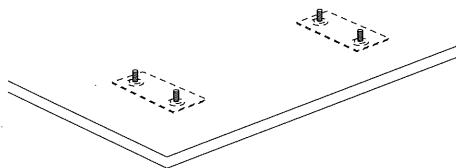
フロアカーペット上に取り付ける場合（フロントシート下部、トランクルーム等）

1 ①ナビゲーションユニット側面に③取付ブラケットを下向きに⑤カップスクリューで取り付けます。

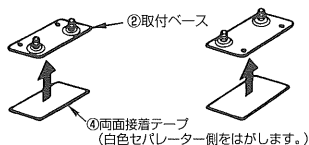


4 ②取付ベースと③取付ブラケットの仮止めを外し、本体を取り外します。

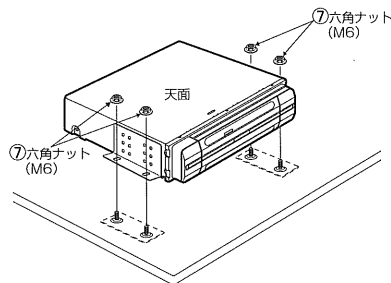
5 カーペットを元に戻し、ネジが当たる所にカッターナイフなどで切り込みを入れ、ネジをカーペットの上に出します。



2 ②取付ベースの裏側に④両面接着テープを貼り付けます。

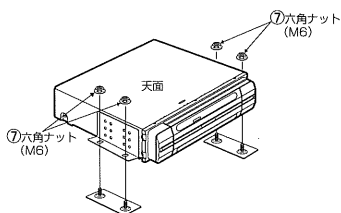


6 カーペットの上に出したネジと③取付ブラケットのネジ穴があうように本体を置き、⑦六角ナットでしっかりと固定します。



3 ②取付ベースと③取付ブラケットを⑦六角ナットで仮止めしたあと、カーペットをめくり、取り付け位置を決め、床に②取付ベースを貼り付けます。

●②取付ベースを貼り付ける床面の汚れは、きれいにふきとってください。

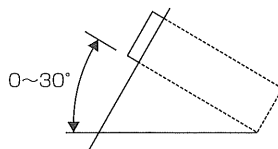


トランクルームに取り付ける場合、別売接続コード(DD-2222FM-4LS)と、電源延長コード(LE-58DG-4)が必要です。

オーディオスペースに取り付ける場合

ご注意

- 取り付けの角度は、水平～30° の範囲でご使用ください。範囲外で使用した場合、誤動作、故障の原因となります。



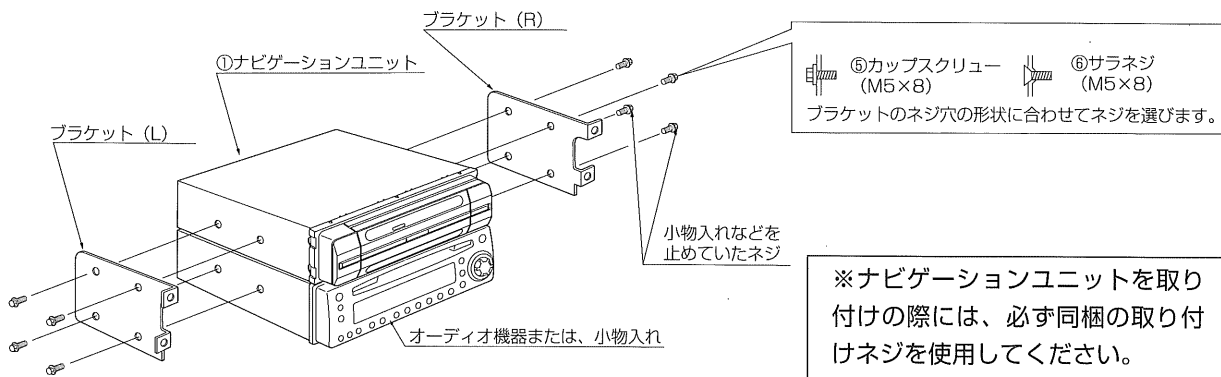
1. 車両側オーディオスペースのオーディオ機器、小物入れなどを取り外します。

既に装着されているオーディオ機器、小物入れなどを外してください。

2. ナビゲーションユニットを取り付けます。

取り外したオーディオ機器、小物入れなどを止めていたブラケットを使用して、ナビゲーションユニットをオーディオスペースに取り付けます。(ナビゲーションユニットは上段に取り付けてください。)

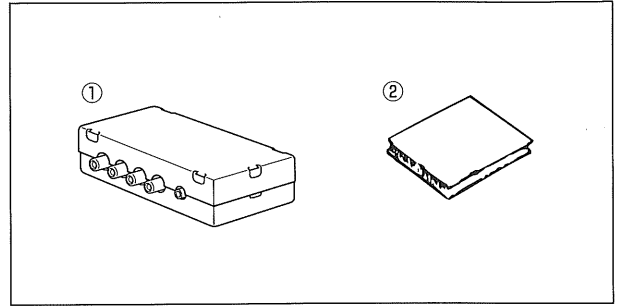
- 年式、車種、グレードにより、専用取付キット(別売)が必要な場合がありますので、詳細については、お買い上げ店または、最寄りの地区別サービス店(別紙サービス相談窓口一覧をご覧ください。)へご相談ください。



ディスプレイアダプターの取り付けかた (CU-H9000付属)

構成部品

- ①ディスプレイアダプター …… 1
- ②マジックテープ …… 1



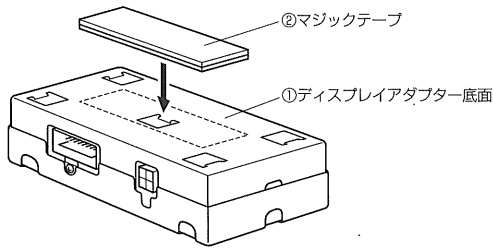
取り付けかた

●本機はマジックテープを使用してフロントシート下部に取り付けます。

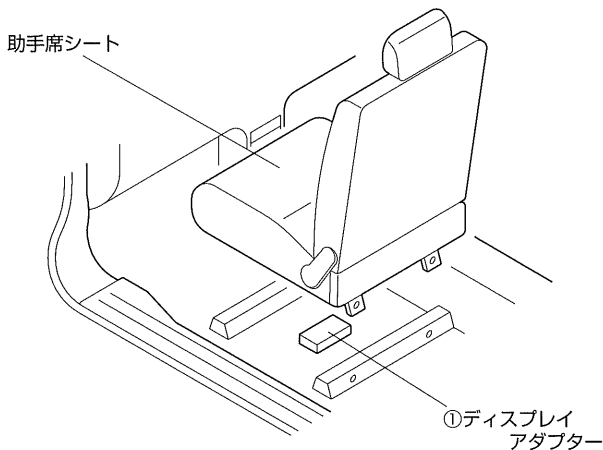
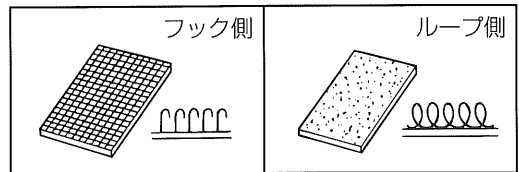
1. ②マジックテープのフック側のセパレーターをはがし、①ディスプレイアダプター底面に貼り付けます。
2. ②マジックテープのループ側のセパレーターをはがし、フロアカーペット上に貼り付け①ディスプレイアダプターを固定します。

⚠ 注意

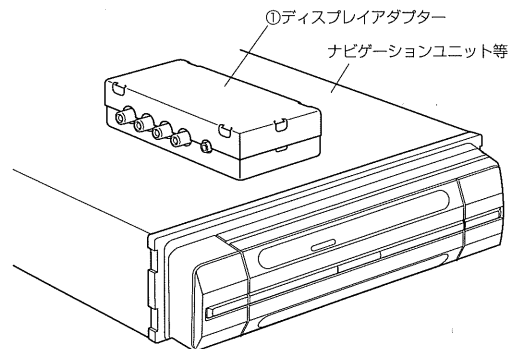
フロアカーペットが毛足の有るタイプの場合、マジックテープの粘着剤が効かないことがあります。この場合はマジックテープのフック側のみでフロアカーペットへ固定してください。



②マジックテープ



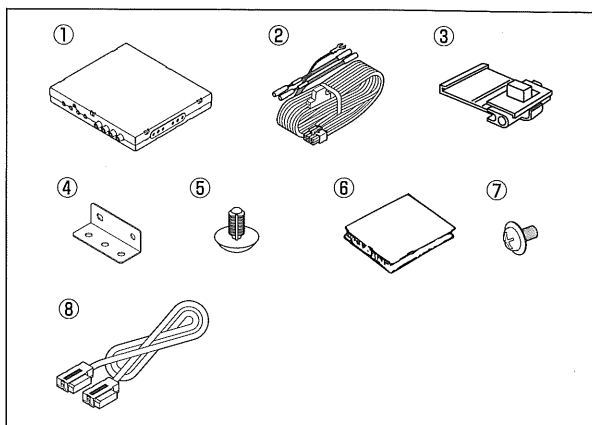
フロントシート下にナビゲーションユニット等を設置している場合は既設機器の上部に①ディスプレイアダプターを貼り付けてください。



テレビチューナーの取り付けかた (CU-H9000VP付属)

構成部品

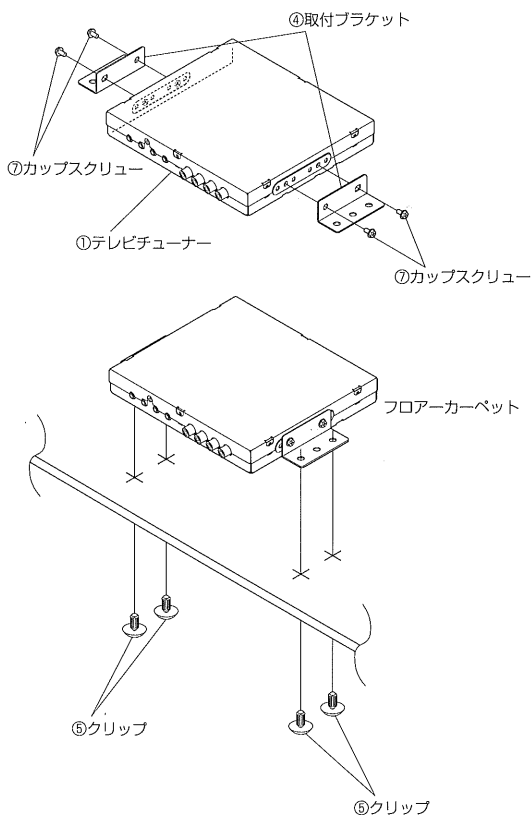
- ① テレビチューナー…… 1
- ② 電源コード
- ③ 圧着式コネクター…… 1
- ④ 取付ブラケット…… 2
- ⑤ クリップ…… 4
- ⑥ マジックテープ…… 2組
- ⑦ カップスクリュー…… 4
- ⑧ 接続コード…… 1



取り付けかた

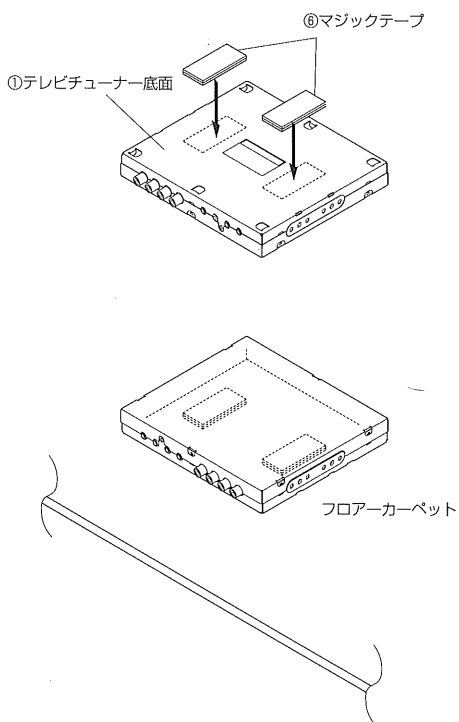
取付ブラケットを使用して固定する場合

1. 本機側面に④取付ブラケットを⑦カップスクリューで固定します。
2. 取り付け位置を決め、取付ブラケットの穴からフロアカーペットにペン等でマーキングします。
3. マーキングしたところをカッターナイフ等で十字に切り込みを入れます。
4. ⑤クリップ先端を切り込みより通し取付ブラケットの穴に通し①テレビチューナーを固定します。



マジックテープを使用して固定する場合

1. ⑥マジックテープのフック側のセパレーターをはがし①テレビチューナー底面(両端)に貼り付けます。
2. マジックテープのループ側のセパレーターをはがしフロアカーペット上に貼り付け、①テレビチューナーを固定します。



テレビチューナーの取り付けかた (つづき)

〈助手席シート下への取付例〉

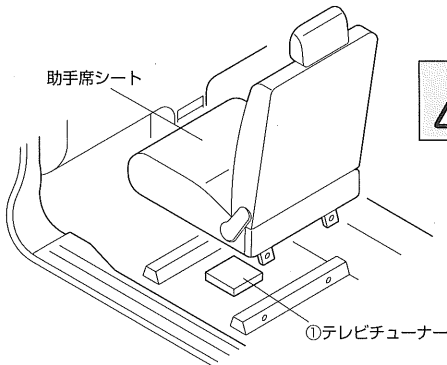
ここに記載されている取付例は、ほんの一例です。詳細については、お買い上げ店または、最寄りの地区別サービス店(別紙サービス相談窓口一覧表をご覧ください。)へご相談ください。



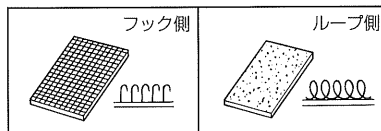
急ブレーキ、急ハンドル等により、本機が移動すると危険です。シート下への取り付けは確実に行ってください。できる限り取付ブラケットとクリップを使用して固定してください。



フロアカーペットが毛足の有るタイプの場合、マジックテープの粘着剤が効かないことがあります。この場合はマジックテープのフック側のみでフロアカーペットへ固定してください。



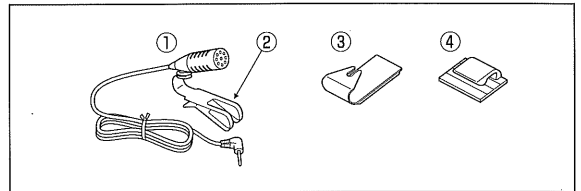
⑥マジックテープ



マイクの取り付けかた

構成部品

- ①マイク..... 1
- ②クリップ(サンバイザー取付用)・・・ 1
- ③クリップ(コラムカバー取付用)・・・ 1
- ④コードクランプ..... 6

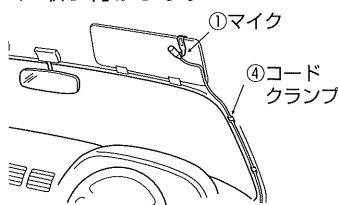


！注意事項

- マイクは発話する人の口もとから20～40cmの距離のところに、口元に向けて取り付けてください。
- マイクからの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると誤認識の原因となります。
- コラムカバーに取り付ける場合、メーター等の視界を妨げず、ステアリング操作等に支障のない位置を選んでください。
- マイクと発話する人の間に障害物があるような取り付けは避けてください。
- マイクが口元に向いていないと、車内の騒音が大きいときに誤認識が多くなります。
- サンバイザーを下げた状態ではマイクが発話する人の方を向かないため正しく認識できません。
- マイク取付位置はサンバイザーを推奨します。**
(コラムカバーに取り付けた場合は、一部の車種で振動、騒音等の影響により、十分な認識性能が得られないことがあります。)

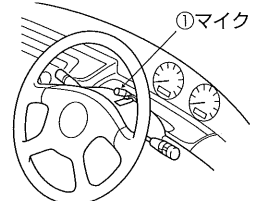
サンバイザーにマイクを取り付ける場合

- サンバイザーを上げた状態で①マイク(サンバイザー取付用クリップ付)が発話する人の方へ向くようにクリップでサンバイザーに取り付けます。
- マイクのコードを④コードクランプにて要所を固定しながら引き回します。



コラムカバーにマイクを取り付ける場合

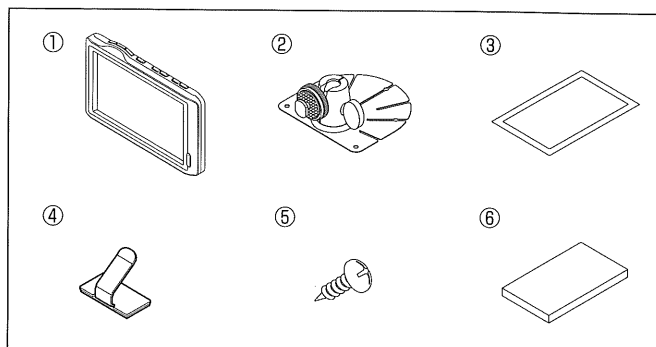
- ①マイクに付いている②サンバイザー取付用のクリップを③コラムカバー取付用のクリップに付け替えて、ハンドルコラム上のあらかじめ決めておいた位置に両面テープで固定してください。
- マイクのコードを④コードクランプにて要所を固定しながら引き回します。



ディスプレイの取り付けかた (CU-H9000VP付属)

構成部品

- ①ディスプレイ…………… 1
- ②ディスプレイスタンド…………… 1
- ③クリーナー(テープ貼付面清掃用)…………… 1
- ④クランパー…………… 5
- ⑤タッピングネジ(テープ接着補強用)…… 3
- ⑥クッション材(ダッシュボード保護用)…… 1



ご注意

- ディスプレイスタンドの取り付けは安全のためしっかり固定できる場所(ディスプレイ底面がダッシュボードに当たる場所など)へ貼り付けてください。また、ダッシュボードの材質によって(PPポリプロピレン製など)は、両面接着テープだけでは強い接着力が得られないので、付属のタッピングネジ3本を使用してしっかりと固定してください。この場合、ダッシュボードに穴があきます。取り付ける面が強い曲面の場合は接着面積が小さくなり不安定になるため、取り付けないでください。
- 助手席にエアバッグ(SRS AIRBAG)が装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグ動作の妨げになる場所にディスプレイスタンドを取り付けしないでください。交通事故の際、エアバッグが正常な機能を発揮できなくなり危険です。カーディーラーなどにご相談の上取り付け位置を決めてください。
- 直射日光が長時間当たっていた場合などは金属部分が高温になり、やけどをする可能性があります。角度調整は温度が下がってから操作してください。
- ディスプレイスタンドに付属のディスプレイ以外のものを取り付けしないでください。
- 熱の影響を受けやすいヒーターの吹き出し口の近くやドア近くの雨水のかけやすい場所には取り付けしないでください。

取り付けかた

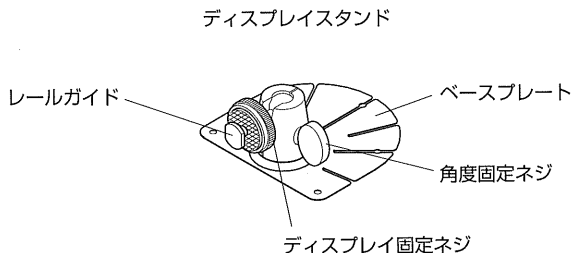
取付作業前の準備

- 気温が低い(20℃以下)場合は、両面接着テープの初期接着力が弱まります。ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
- 貼り付け場所の汚れはよく拭き取ってから貼り付けてください。
(※必ず付属の③クリーナーをご使用ください。)

ディスプレイスタンドを貼り付ける部分にレーザーワックスなどの表面保護材が塗布されている場合は、両面接着テープの接着力が著しく低下しますので、クリーナー等を使用して貼り付け面をきれいに拭き、完全に乾いてから貼り付けてください。両面接着テープは一度はがすと再度接着することはできませんのでご注意ください。

ディスプレイの取り付けかた (つづき)

各部の名称

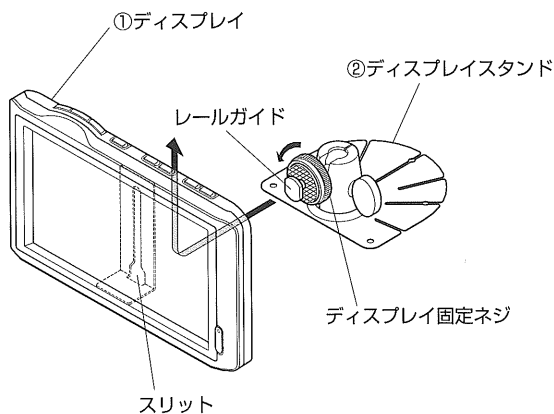
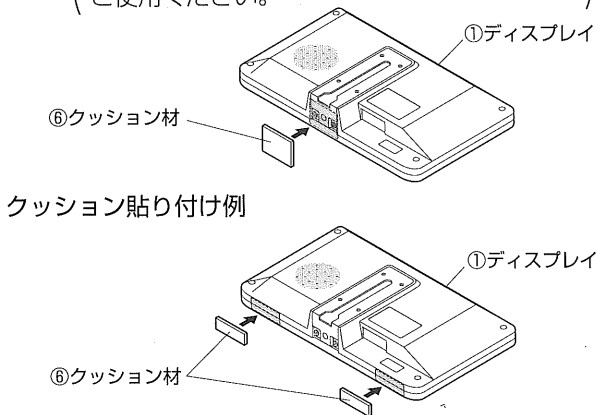


ダッシュボード上への取り付け

1 ディスプレイとディスプレイスタンドを仮止めする。

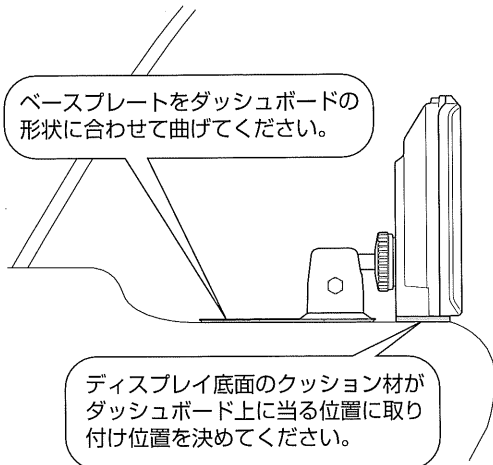
1. ⑥クッション材のセパレータをはがし①ディスプレイの底面に⑥クッション材を貼り付けます。
(取り付け位置により⑥クッション材を切ってください。)

2. ①ディスプレイのスリットに②ディスプレイスタンドのレールガイドを下図のように差込みディスプレイ固定ネジを回し仮止めをします。



2 取り付け位置を決める

- 上記の作業を終了したセットをダッシュボードに当てて、取り付け位置を決めます。
(※この時、ベースプレートの裏面の両面接着テープの赤色のシートは、はがさないでください。)



⚠ 警告

運転席から見てディスプレイが視界を妨げないことを確認してください。視界が妨げられる場合、取付場所を変更してください。

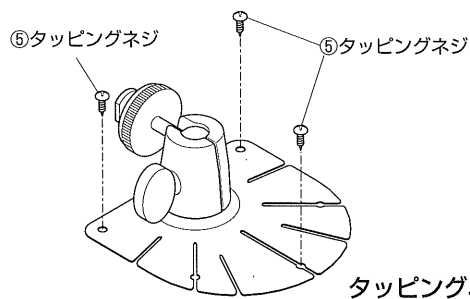
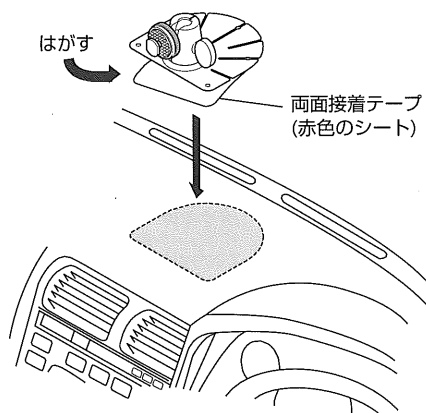


⚠ 注意

付属のハンドルリモコンを使用する場合は、ディスプレイの受光部に確実にハンドルリモコンの信号が届くのを確認して位置を決めてください。

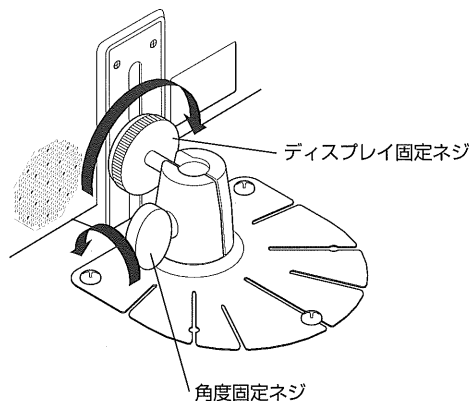
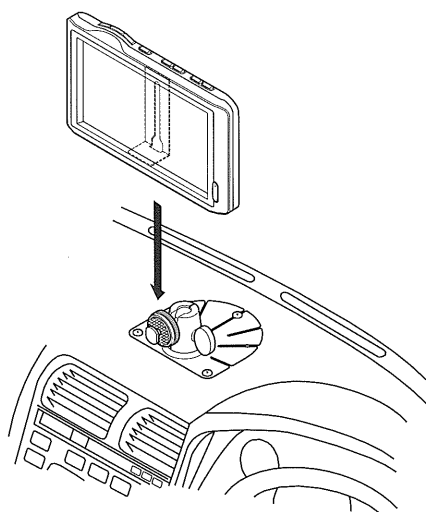
3 ディスプレイスタンドを取り付ける

1. 仮止めしたディスプレイとディスプレイスタンドを一度はずします。仮止めで決めた取り付け位置にディスプレイスタンドのスタンドベース裏面の両面接着テープの赤色のシートをはがしダッシュボードにしっかりと貼り付けます。
(ディスプレイスタンド貼り付け面の汚れを③クリーナーを使って取り除いてください。)
2. ⑤タッピングネジ3本でディスプレイスタンドをダッシュボードにしっかりと固定します。(ダッシュボードには穴があきます。)



4 ディスプレイを取り付ける

- ディスプレイとダッシュボードに取り付けたディスプレイスタンドを作業1と同要領にて取り付けます。ディスプレイを安定させるのにディスプレイ底面をダッシュボードに当るようにしてディスプレイ固定ネジと角度固定ネジを調整して締めてください。



※ディスプレイスタンドの各固定ネジはしっかりと締め付けてください。締め付けが弱いと走行時の振動などでネジが緩みディスプレイの角度が変わったり、ディスプレイがはずれる恐れがあり危険です。

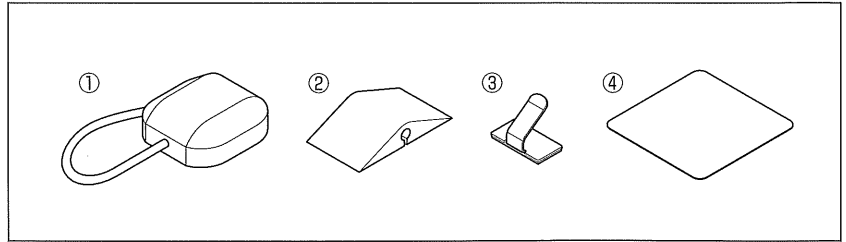
取り外しかた

- 貼り付け面の隅の方からゆっくりと引きはがしてください。
- 気温が低い時は、車内のヒーターを入れるか、ドライヤーなどで貼り付け面をあたためるときれいにはがせます。
- 万一、両面接着テープの接着剤が残った場合も、指でこすってはがすことができます。
- 一度接着した両面接着テープは再使用できません。

GPSアンテナの取り付けかた

構成部品

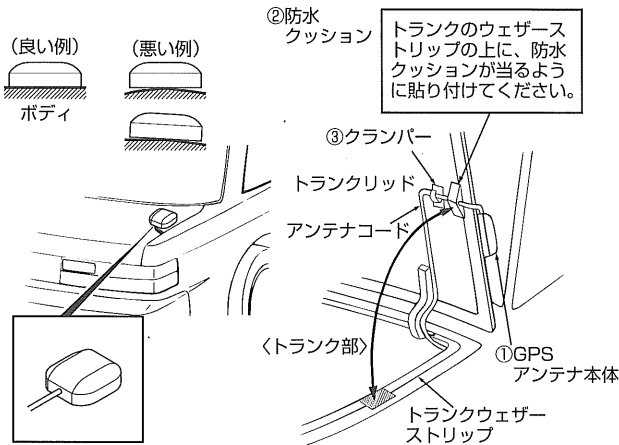
- ① GPSアンテナ…………… 1
- ② 防水クッション…………… 1
- ③ クランパー…………… 2
- ④ グランドプレート…………… 1



取り付けかた

トランクリッドに取り付ける場合

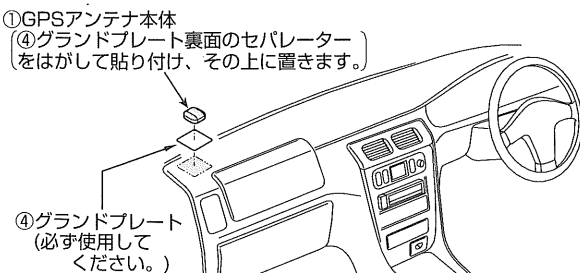
- GPSアンテナ本体は磁力で付くようになっていますが、しっかりと取り付けるために、平らな面に取り付けてください。



アンテナのケーブル長が不足する場合は、別売GPSアンテナ延長コード(LEAD-ANT94-5 5m)を使用してください。

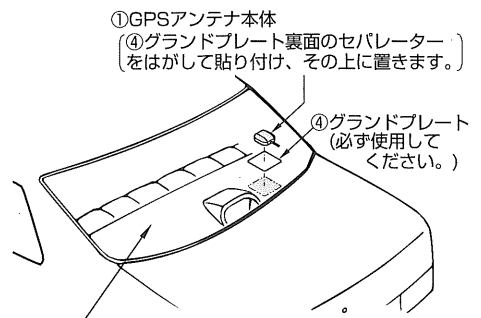
フロントダッシュボードに取り付ける場合

- GPSアンテナ本体はダッシュボードの中央付近を避けてフロントガラスに近い位置に取り付けてください。
(ダッシュボード中央付近にGPSアンテナ本体を設置するとセンターコンソールに設置されている周辺機器からの影響で受信感度が低下することがあります。)



リヤトレイボードに取り付ける場合

- GPSアンテナ本体は、リヤトレイボードのリヤガラスに近い位置に取り付けアンテナコードはリヤトレイボードのすき間におし込みます。



- 熱線リヤガラス及びリヤガラスアンテナ装備車は取り付け位置によりGPS衛星からの電波が受信しにくい場合があります。
 - ・車室外取り付け時と同程度の受信感度が得られる場所に設置してください。
 - ・一部の特殊ガラスを採用している車では電波が遮断され受信できなくなるので、トランクリッドまたはフロントダッシュボードへ取付けてください。

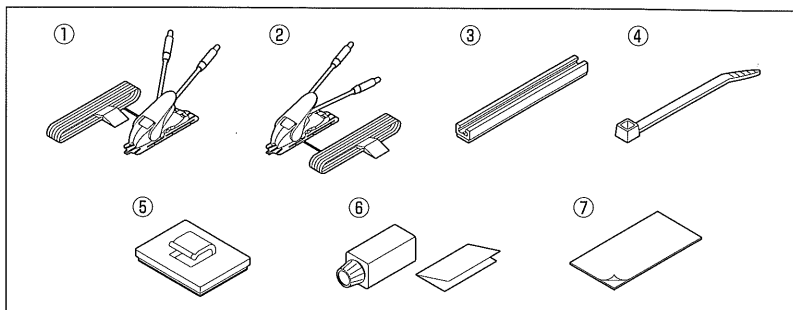
！注意事項

- GPSアンテナ本体を車内に取り付ける場合、必ずグランドシートを使用してください。またグランドシートを小さくする等の加工をしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
- GPSアンテナ本体の設置場所は、GPS衛星からの電波がさえぎられない場所で、なるべく平らで水平な面を選んでください。
- GPSアンテナコードは、必要に応じてクランパーを使用して車両に固定してください。
- GPSアンテナコードの配線はテレビやラジオのアンテナコードから離してください。近づけて配線するとテレビやラジオに妨害を与えることがあります。
- GPSアンテナ本体は、ナビゲーションシステム本体、周辺機器及びそれらの接続コードの近くに取り付けしないでください。近くに取り付けると受信感度低下の原因となることがあります。

テレビアンテナの取り付けかた (CU-H9000VP付属)

構成部品

- ① アンテナ本体(左側用)..... 1
- ② アンテナ本体(右側用)..... 1
- ③ コードレール..... 4
- ④ コードバインダー..... 2
- ⑤ コードクランプ..... 6
- ⑥ クリーナーセット..... 1
- ⑦ 両面テープ..... 2



お願い

- 受信環境 (トンネル内、山かげ、ビルの谷間など) によっては、鮮明な画像が得られない場合があります。
- 盗難やいたずら防止のため、車から長時間離れる場合は、アンテナ本体をはずして車内に保管してください。
- 洗車の際には、アンテナ本体をはずしてください。
- **ラジオ、パーソナル無線、自動車電話、ナビゲーションユニット**などから影響を受ける場合は、それらのアンテナ、およびコード類から十分離して取り付けてください。
- **またラジオのアンテナがウインド(ガラスアンテナ)型の場合、逆にラジオに影響を与える場合がありますので**トランクリッドへの取り付けをおすすめします。

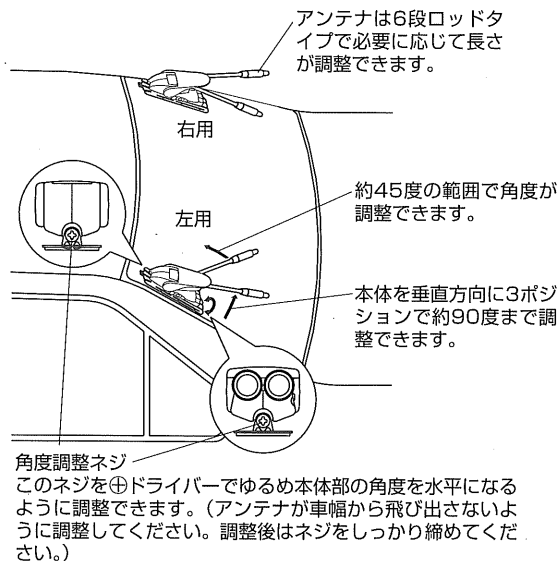
取り付けかた

リヤウィンドウに取り付ける場合

1 左右のアンテナをリヤウィンドウガラス上に置いて取り付け位置を決めます。アンテナは下図のように角度や長さを変えることができます。

！ 注意事項

- アンテナエレメントの先端が車幅、車長からはみ出さない位置を選んでください。
- トランクリッドを開けたとき、当たらないことを確認してください。
- リヤワイパーが動作中に当たらない位置を選んでください。
- リヤウィンドウのコーナーカーブの著しい所への取り付けは避けてください。(十分な接着力が得られません)



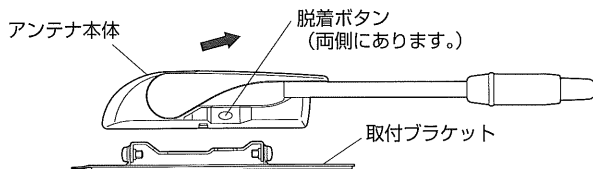
2 取付ブラケットを貼り付ける面の汚れを、⑥クリーナーセットを使って取り除きます。クリーナー液が白く乾いたら水で洗い流し、きれいな布で乾拭きしてください。

！ 注意事項

貼り付け面は必ず、⑥クリーナーセットを使って洗浄してください。少しでも汚れが残っていると十分な接着力が得られません。

テレビアンテナの取り付けかた (つづき)

- 3** アンテナ本体を取付ブラケットから取り外します。
アンテナ本体の両サイドにある脱着ボタンを押しながら、後方向に押し上げてください。



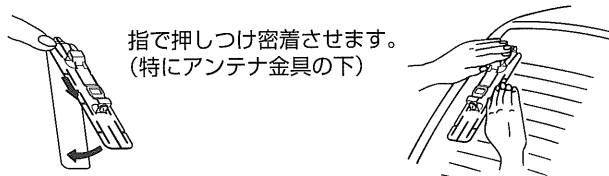
- 4** 取付ブラケット(貼り付け用)裏面の両面接着テープのシートをはがし、取付ブラケットをガラス面に貼り付けます。十分な接着力を得るために貼り付け後24時間以上放置してください。

！注意事項

- 貼り付け面が曲面の場合は、はくり紙をはがす前にあらかじめ取付ブラケットを貼り付け面の形状に沿うように手で成形しておいてください。
- はくり紙をはがした後は、接着面に手をふれないでください。
- 気温が低いとき(20℃以下)は接着が低下しますので接着面(ガラス面およびテープ面)を暖めてから貼りつけてください。
- 雨天時など湿気の多いときは接着力が低下し、走行中にはがれる危険性がありますので、貼り付け作業は天気の良い日中に行なってください。
- 貼り付け後24時間以内は接着状態が不完全ですので水をかけたり、力を加えたりしないでください。

貼り付けた後、貼り付け部分に空気が入っていないか車内から確認してください。空気が入っているときは、さらに押し付けてください。

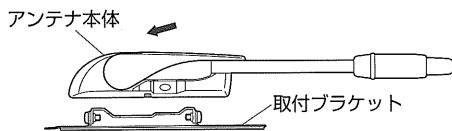
先端から押しつけながら徐々に貼り付けます。



- 5** アンテナ本体を取付ブラケットに取り付けます。取り外したときの逆の手順で取り付けてください。

！注意事項

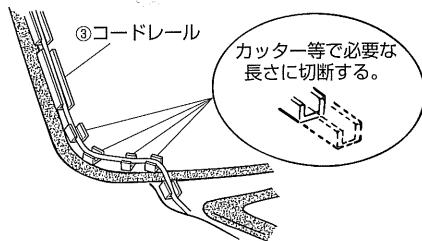
- 右側と左側を間違えないように注意してください。
- 「カチッ」と音がするまで確実に固定してください。



- 6** リヤウィンドウガラスに③コードレールを貼り付け、アンテナコードをトランクリッド内側まで引き込みます。

！注意事項

- アンテナ本体を起こしたり、倒したりしたときにコードが突っ張らないように余裕をもたせてください。

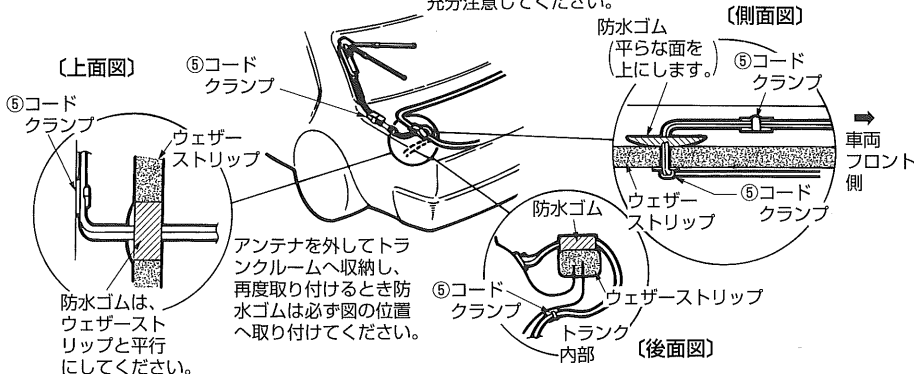


- 7** アンテナコードを⑤コードクランプで車両に固定します。

雨水等の浸入を防ぐためトランク部分の引き直しには充分注意してください。

！注意事項

- トランクリッドの開閉に支障のない位置に固定してください。
- コードクランプ貼付面の汚れは、きれいに拭き取ってください。

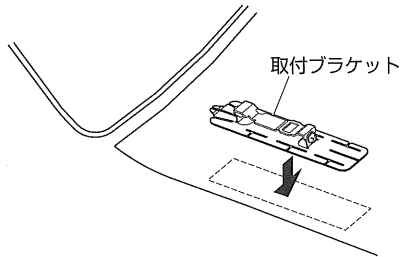


- 8** アンテナコードをテレビチューナーの取付位置まで配線します。

トランクリッドに取り付ける場合

- 1 アンテナ本体から取付ブラケット(貼り付け用)を取り外します。
取り外しかたは **リヤウィンドウに取り付ける場合** の3項を参照してください。

- 2 取付ブラケット裏面の両面テープのはくり紙をはがし、トランクリッドに貼り付けます。



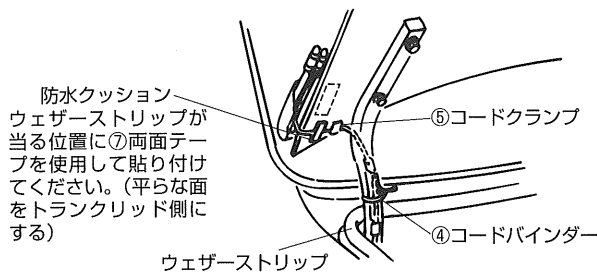
貼り付けかたは **リヤウィンドウに取り付ける場合** の4項を参照してください。

！注意事項

- ・アンテナエレメントの先端が車幅、車長からはみ出さない位置を選んでください。
- ・トランクリッドを開けたとき、リヤウィンドウ等に当たらないことを確認してください。

- 3 アンテナ本体を取付ブラケットに取り付けます。
取り付けかたは **リヤウィンドウに取り付ける場合** の5項を参照してください。

- 4 アンテナコードを⑤コードクランプ、④コードバインダーで車両に固定します。



！注意事項

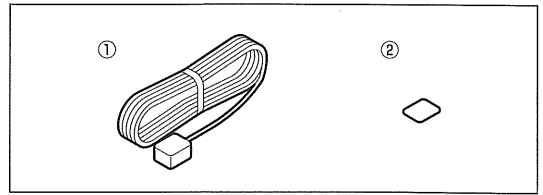
- ・アンテナ本体を起こしたり倒したりしたときに、コードが突っ張らないように余裕をもたせてください。
- ・コードクランプは、トランクリッドの開閉に支障のない位置に固定してください。
- ・コードクランプ貼付面の汚れはきれいに拭き取ってください。

- 5 アンテナコードをテレビまたはテレビチューナーの取付位置まで配線します。

リモコン受光ユニット(CU-H9000付属)の取り付けかた

構成部品

- ①リモコン受光ユニット……… 1
- ②両面接着テープ……… 1



！注意事項

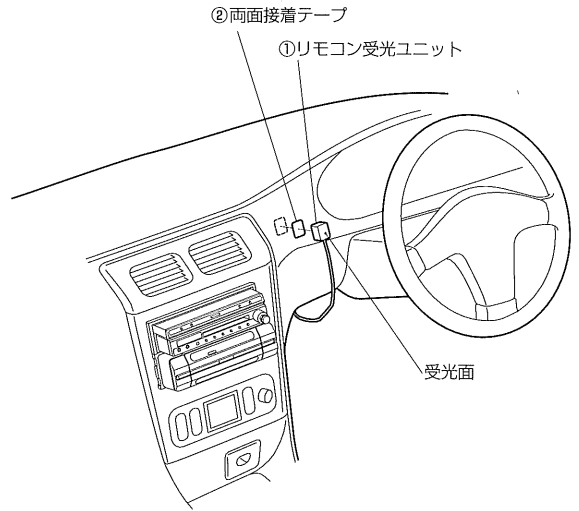
①リモコン受光ユニットは直射日光が差し込まない場所へ取り付けてください。直射日光が入るとリモコンが効かなくなることがあります。

ダッシュボード及び助手席の下等に付属の②両面接着テープで貼り付けてください。

両面接着テープを貼り付ける面は、きれいに汚れをふきとってください。

付属のハンドルリモコンを使用する場合は、リモコン受光ユニットの受光部で確実にハンドルリモコンの信号が届く位置を確認して決めてください。

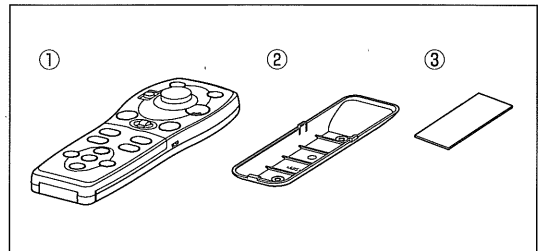
本ユニットは他社ディスプレイ接続時にお取り付けください。当社ディスプレイ接続時はディスプレイに受光部が内蔵されている為使用しません。



ナビゲーション本体用リモコンの取り付けかた

構成部品

- ①ナビ本体用リモコン……… 1
- ②リモコンホルダー……… 1
- ③両面テープ……… 1

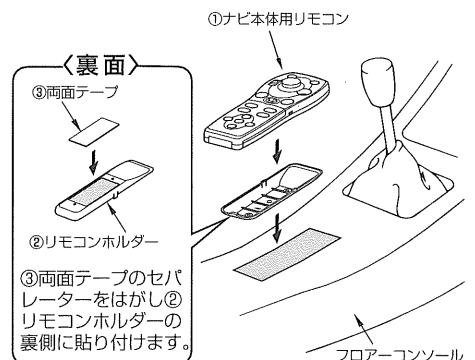


(例) 下記は代表的な例です。運転操作の妨げにならない場所に取り付けてください。

！注意事項

リモコン操作が容易に行える場所を決めてから③両面テープで固定してください。

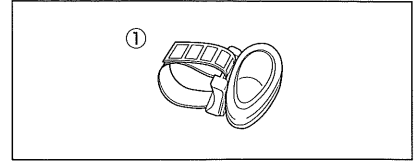
③両面テープを貼り付ける面は、きれいに汚れをふきとってください。



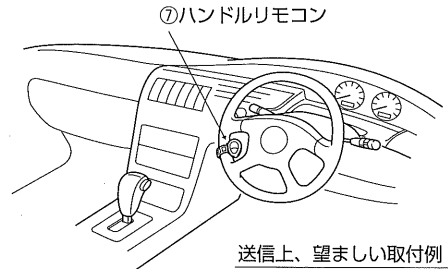
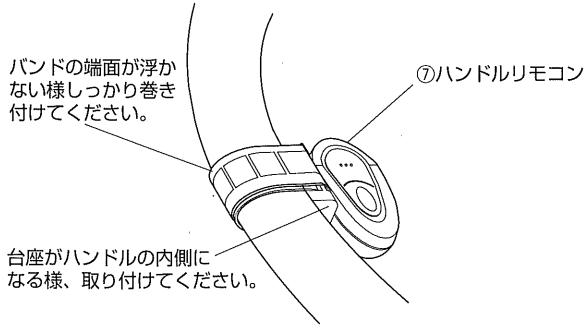
ハンドルリモコンの取り付けかた

構成部品

①ハンドルリモコン……………1



●マジックテープ付きのバンドをほどいてしっかりとハンドルに巻き付け固定します。



取付要領

！注意事項

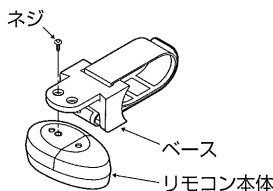
- 運転等、操作の支障にならない位置に取り付けてください。
- ユニット受光部にリモコンの信号が届く位置を確認の上、取り付けてください。
(リモコンの取り付けの角度や位置によっては、信号を受信できないことがあります。)
- 取り付け用のバンドはしっかりとハンドルに巻き付けてください。
- エアバッグなど車の安全装置を妨げない場所に取り付けてください。
- 車のメーター類の視界の妨げになる場所には、取り付けないでください。
- 直射日光のあたるダッシュボードの上などには、取り付けないでください。高温により変形の恐れがあります。
- ハンドルの外側には取り付けないでください。運転操作の支障になり、交通事故の原因となります。
- ハンドルリモコンは、ハンドルの左または右側のユニット受光部に近い方(右ハンドル車の場合はハンドルの左側、左ハンドル車の場合は右側)に取り付けてください。逆側に取り付けると、ハンドルリモコンの信号がユニット受光部に届かない為、動作しないことがあります。
- ハンドルリモコンの取付調整だけで受信がうまくいかない場合、ディスプレイまたはリモコン受光ユニットの取付角度も調整してください。
- 危険防止の為、ハンドル操作中にリモコン操作は行わないでください。

ハンドルリモコンの電池交換

はじめてお使いになるときや電池が切れたときは、次のように電池を入れてください。電池はボタン電池(CR-2032)を1個使用してください。

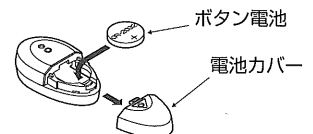
1. リモコン本体を外す

- ハンドルリモコンのネジを取り外し、リモコン本体とベースを取り外します。



2. 電池を入れる

- リモコン本体から電池カバーを取り外し、電池を入れます。(+) (-)の方向を確認の上、入れてください。



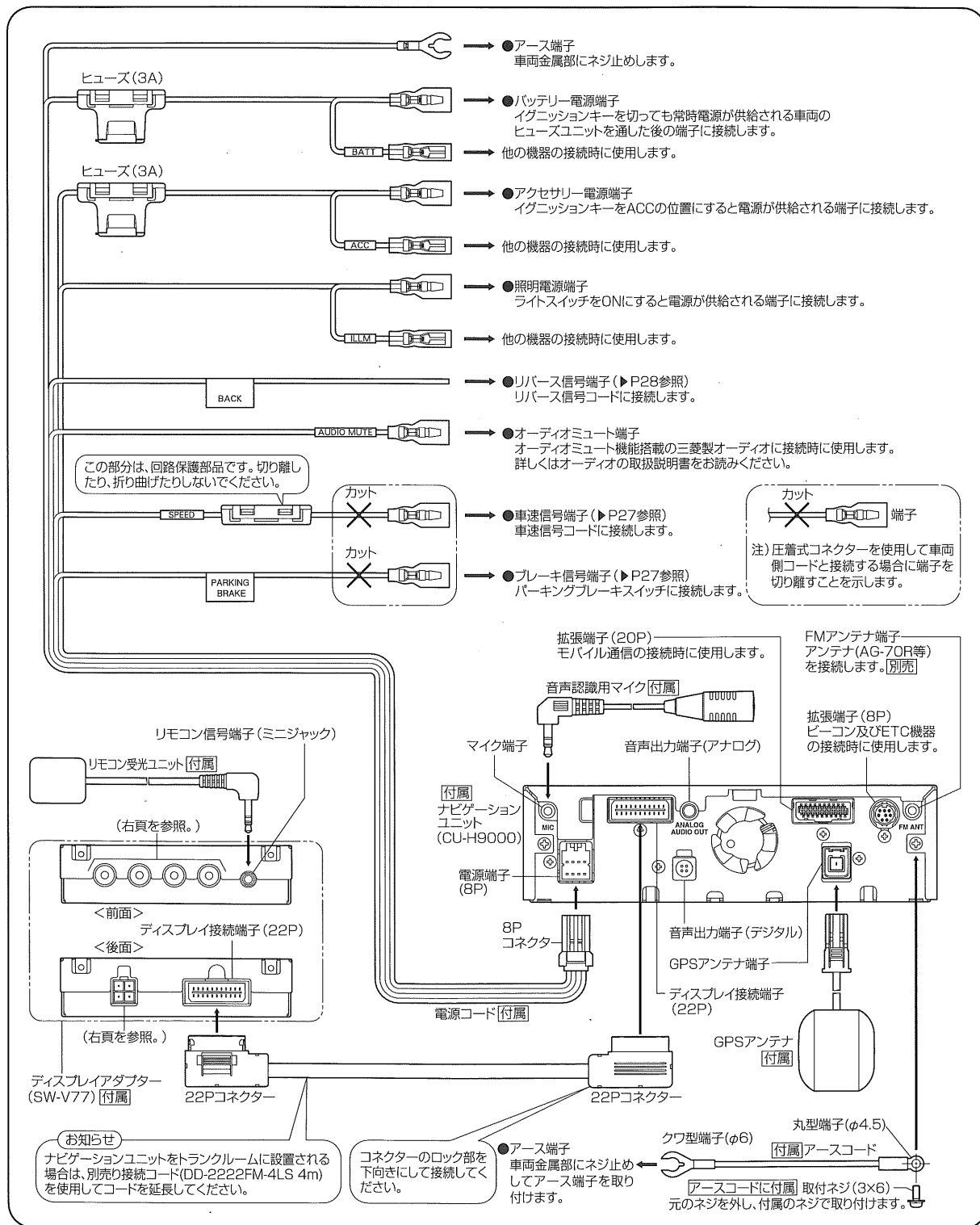
3. 元に戻す

- 取り外しの逆の手順にて、元に戻します。

接続のしかた (CU-H9000の場合)

CU-H9000本体 及びSW-V77の接続

(本ナビゲーションユニット(CU-H9000)を他社製ディスプレイに接続する場合は、ディスプレイアダプター(SW-V77)を使用します。本頁を参照しナビゲーションユニット(CU-H9000)とディスプレイアダプター(SW-V77)の接続を行った後、右頁を参照し、ご使用になるディスプレイを接続してください。



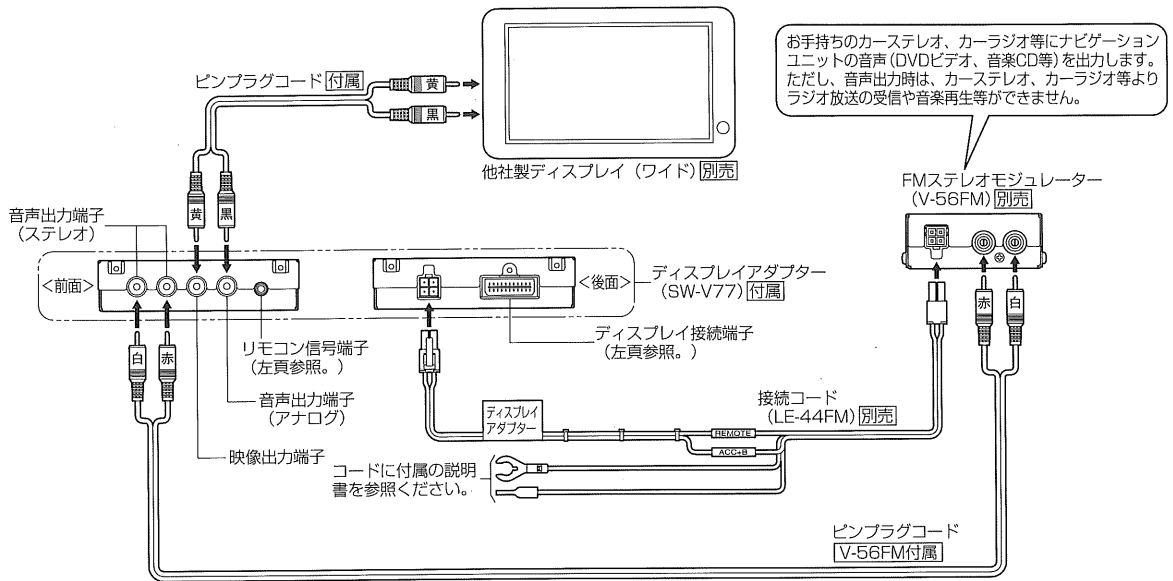
本機の接続作業は、専門知識また、技術が必要です。
 接続作業は、必ず各販売店にご依頼ください。

SW-V77→ディスプレイの接続

(ご使用になるディスプレイの種類により接続方法が異なります。下記接続例を参照し、ディスプレイアダプター(SW-V77)とディスプレイを接続してください。)

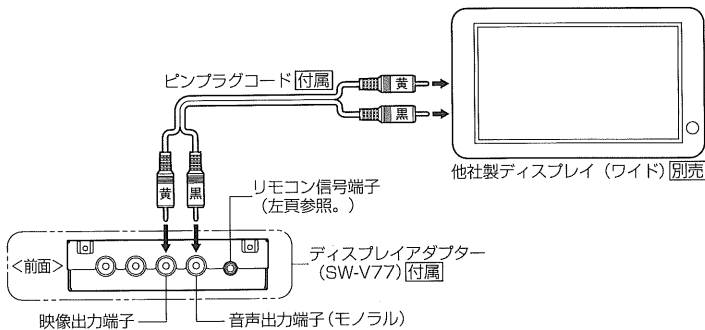
接続例①

ディスプレイに音声入力端子(モノラル)があり、お手持ちのカーステレオやカーラジオでナビゲーションユニットの音声(但し、ナビゲーションの音声ガイドはディスプレイのスピーカーからのみとなります。)



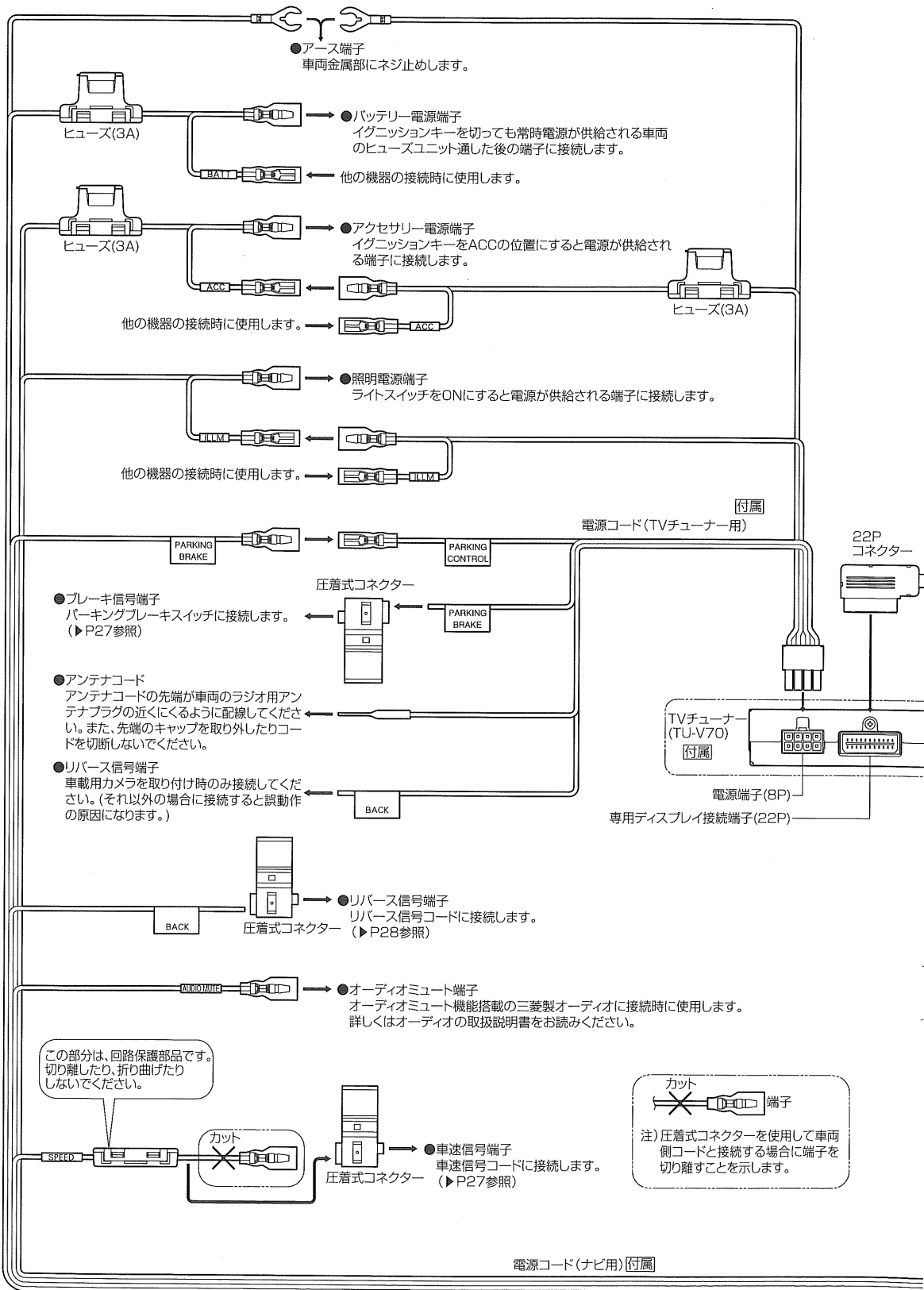
接続例②

ディスプレイに音声入力端子(モノラル)があり、ディスプレイのスピーカーよりナビゲーションユニットの音声(但し、ナビゲーションの音声ガイドはディスプレイのスピーカーからのみとなります。)

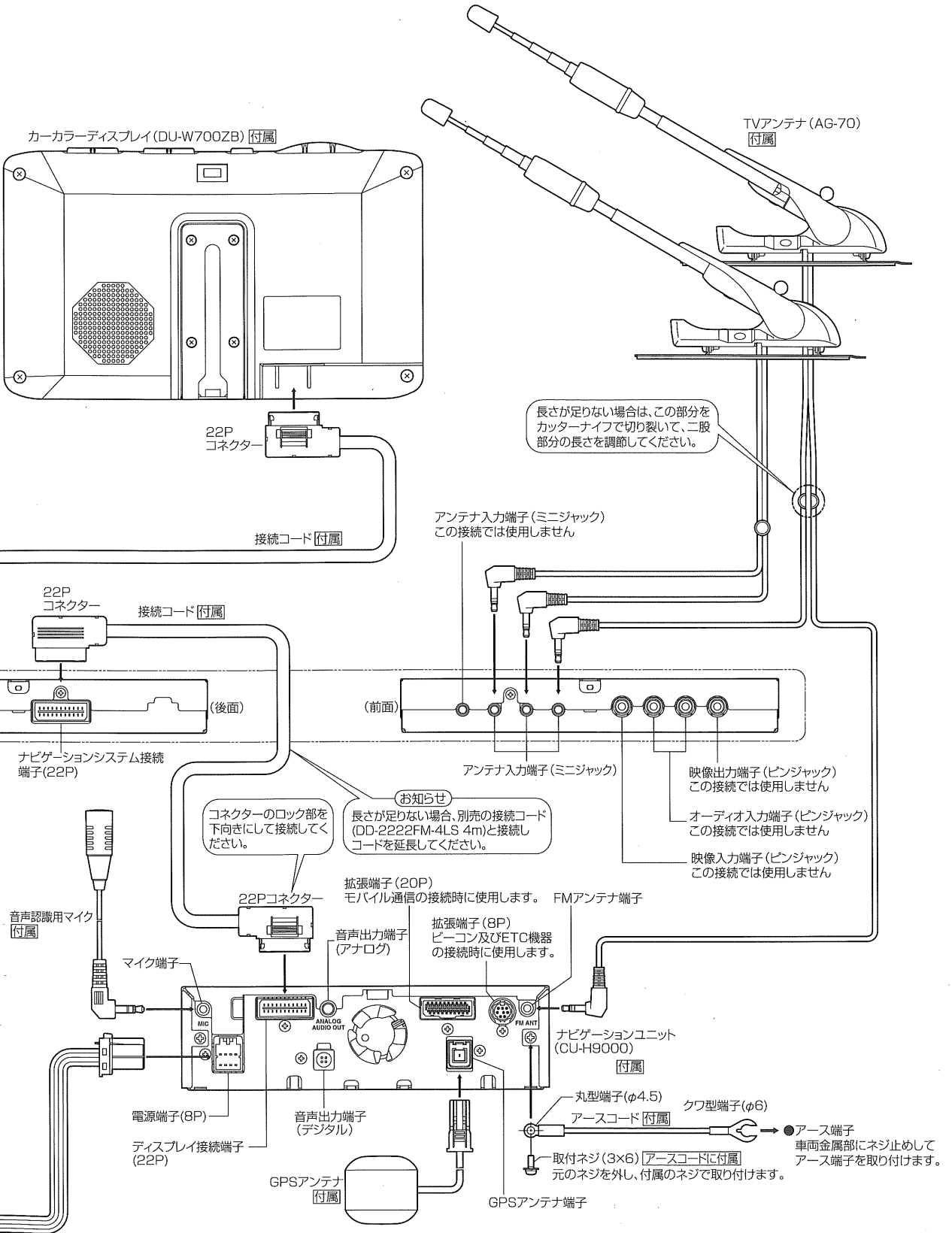


接続要領

接続のしかた (CU-H9000VPの場合)

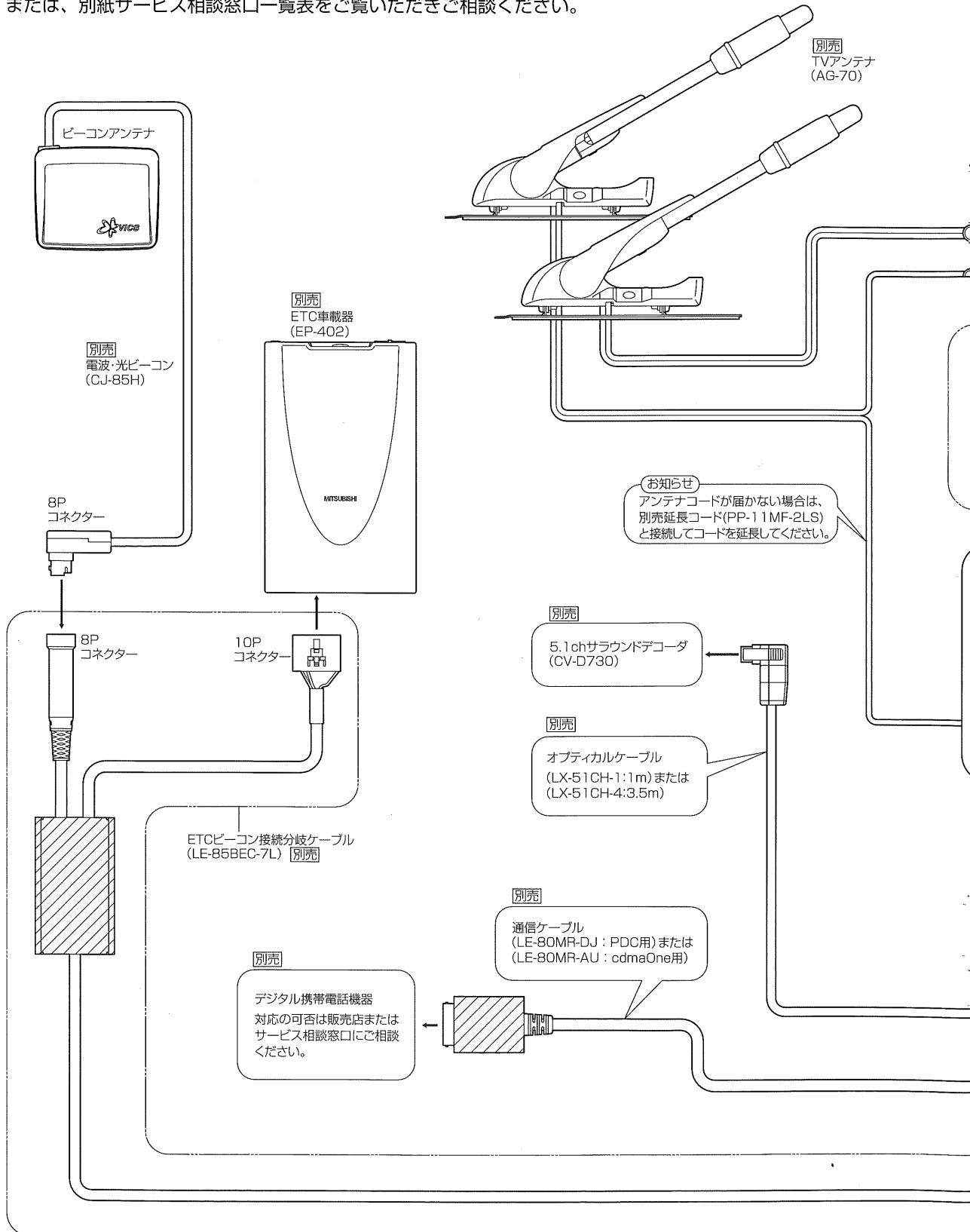


本機の接続作業は、専門知識また、技術が必要です。
 接続作業は、必ず各販売店にご依頼ください。



接続のしかた/システムアップ例 (当社製TV/MDセンター)

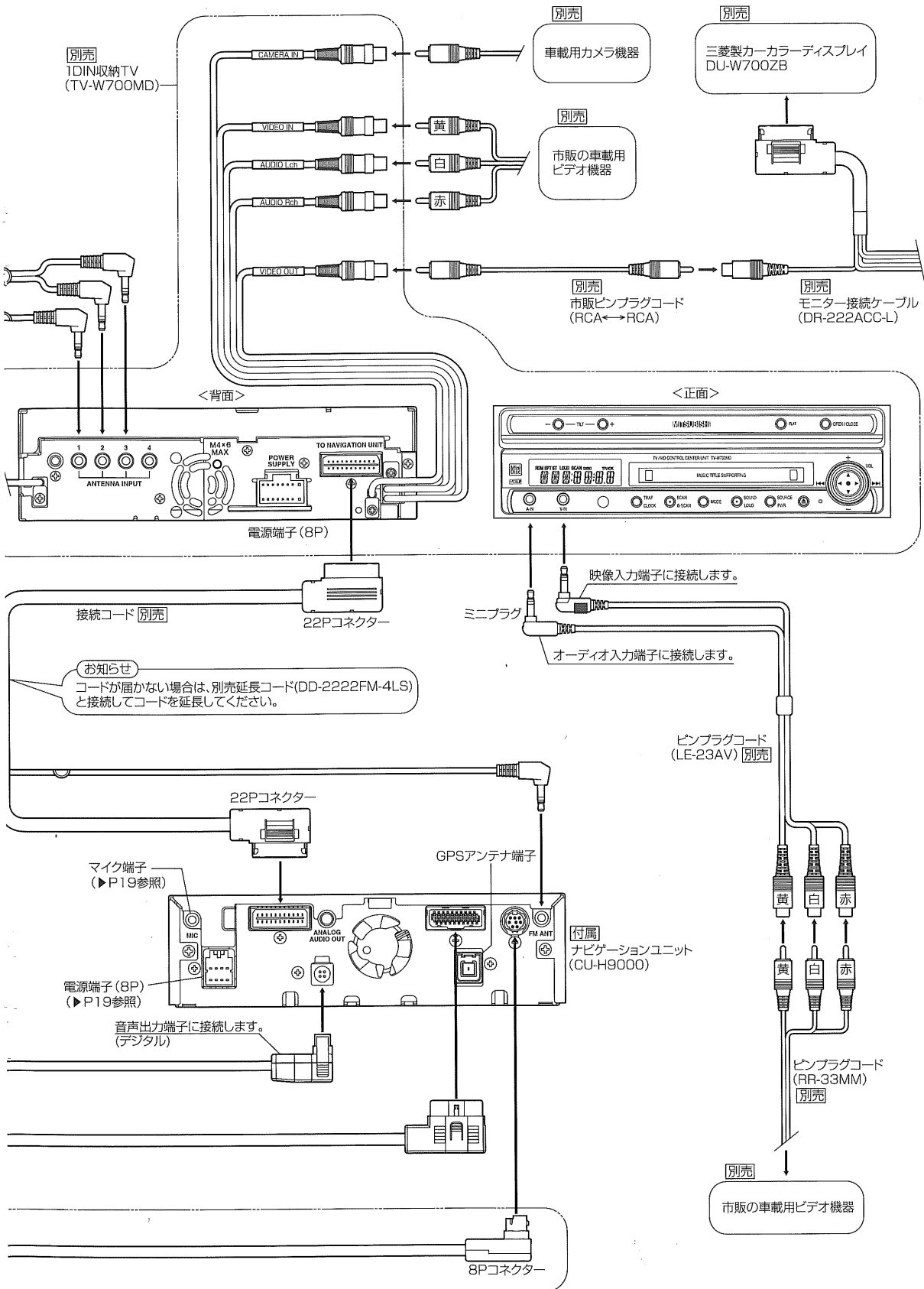
ここに記載されている接続例は、ほんの一例です。お買い上げの製品のシステムアップについては、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表をご覧ください。



接続要領

ユニットを使用する場合)

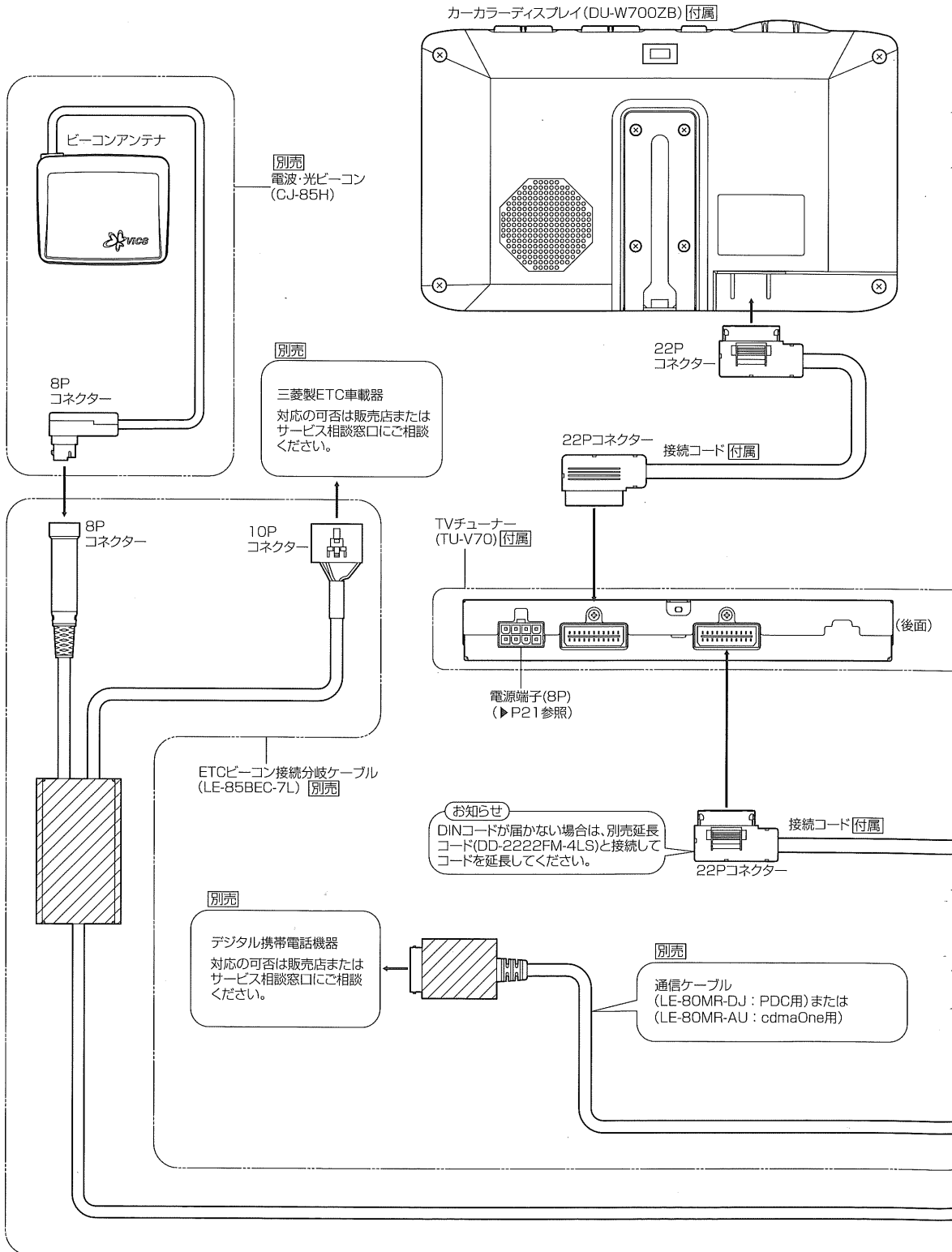
別売品の配線については、各製品付属の説明書をお読みください。



接続要領

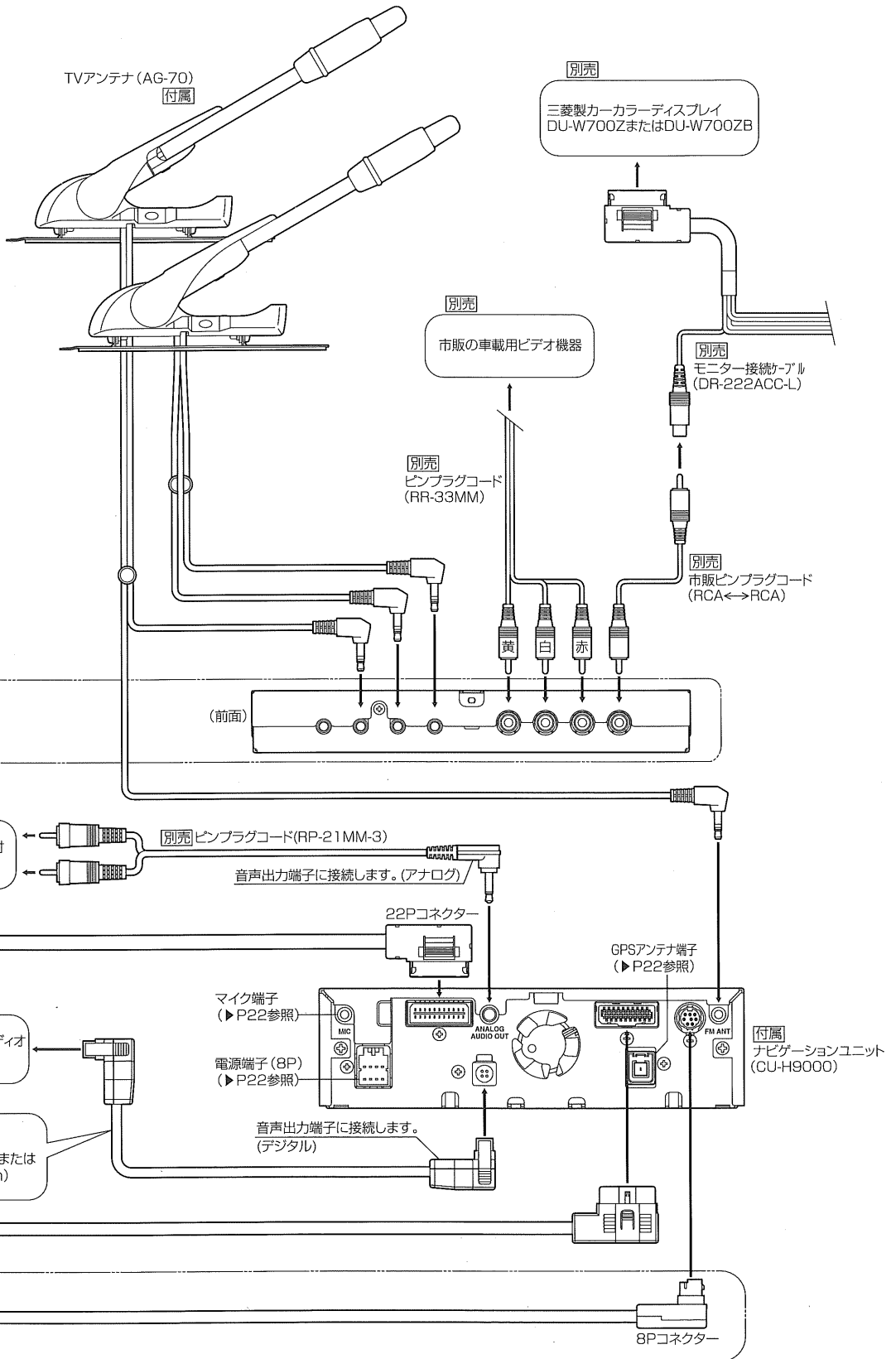
接続のしかた/システムアップ例 (CU-H9000VP)

ここに記載されている接続例は、ほんの一例です。お買い上げの製品のシステムアップについては、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表をご覧ください。



接続要領

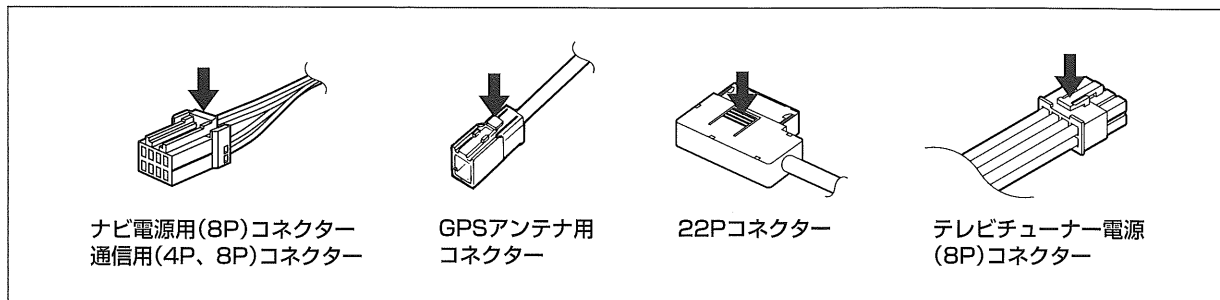
別売品の配線については、各製品付属の説明書
をお読みください。



接続要領

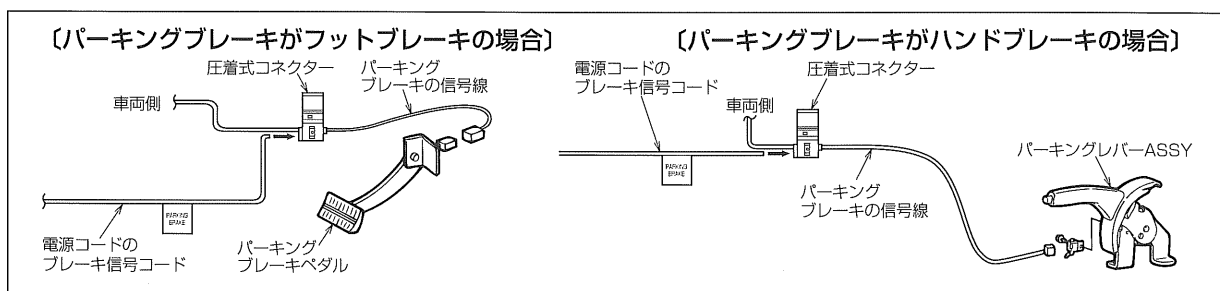
コネクターの脱着について

各コネクタ接続時は確実に奥まで差し込んでください。また取り外す際には、矢印の部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。



ブレーキ信号の取り出しかた

パーキングブレーキの信号線の位置は車両によって異なります。下記は代表的な例です。詳細については、最寄りの地区別サービス店(別紙サービス相談窓口一覧表をご覧ください。)へご相談ください。



車速信号について

■ 車速信号の取り出しについて

- 車速信号は主にエンジン電子制御装置(ECU)に接続されている車速信号コードより取り出します。これはエンジン電子制御装置が主に室内に取り付けられていて、車速センサー回路から直接取るよりも場所の確認等配線作業が容易に行えるためです。

■ 車両側車速信号コードの位置は

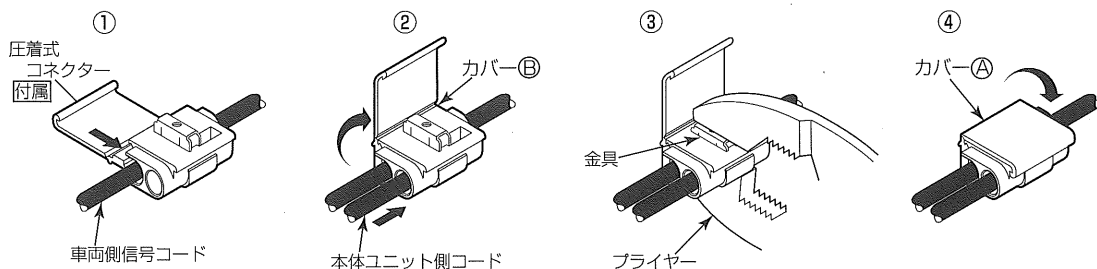
- 車種、年式、エンジン型式の違いにより異なります。車速信号に関するお問い合わせは、お買い上げ店または、別紙サービス相談窓口一覧表に記載の代理店にご相談ください。

お願い

配線終了後、P.29 “接続確認のしかた” をご覧になり、車速信号が確実に取り出されていることを確認してください。車速信号が取り出せない場合、本機は正常に動作しません。

圧着式コネクターの使いかた

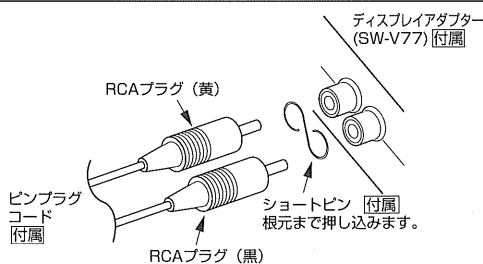
- ① 車両側信号コードから信号を取り出す位置を決め圧着式コネクター内に通します。
- ② カバー ② を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込んでください。本体ユニット側コードの先端を圧着式コネクターに差し込みます。
(側面に当たるまでコードを差し込んでください。)
- ③ 上面の金具をプライヤー等ではさみ込み車両側信号コードと本体ユニット側コードを固定します。
(コードが外れないように確実に固定してください。)
- ④ カバー ④ を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込んでください。



ショートピンの使いかた

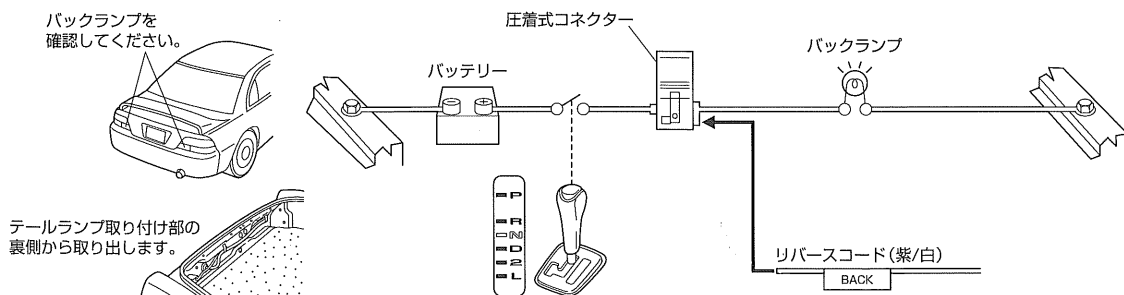
CU-H9000の場合

他社の映像入力端子付ディスプレイおよびテレビシステムを使用する場合に、音声ガイドがディスプレイ側スピーカーより出ない時、付属のショートピンを右図のように取り付けてください。



リバースコードを接続する

チェンジレバーをリバース(R)に入れたとき点灯するバックランプ(後退灯、透明のレンズが付いたランプ)のプラス線にリバースコード(紫/白)を接続してください。



接続確認のしかた（動作チェック）

1. 車両への取り付け、および配線作業終了後、車両のイグニッションキーを<ACC>または<ON>にし、ナビゲーションシステムを立ち上げます。
オープニング画面表示後、自動的に現在位置画面になります。
2. GPS測位を確認します。
ナビ本体用リモコンで『モードボタン』を押し、メニュー画面から **車両位置情報** を選びGPSが測位していることを確認します。GPS受信まで数分かかることがあります。（メニュー画面の見かたは付属の“ナビ本体用取扱説明書”を参照してください。）
3. 動作チェックを行ないます。
ナビ本体用リモコンで『モードボタン』を押し、メニュー画面から **機能設定** ⇒ **機器チェックと確認** を選び、各項目の動作チェックを行ってください。画面の見かたは付属の“ナビ本体用取扱説明書”の「環境設定」を参照してください。

！注意事項

各項目のチェック結果でNGとなった場合は、必ず車両を安全な場所に停車し、取り付け・配線をもう一度確認してください。

4. 車速・ジャイロの初期設定(自動)を行ないます。
見通しの良い場所をしばらく走行します。
(車速パルス数は時速20km以上の一定速度で直線道を数km走行することにより、自動的に初期設定されます。)
5. 初期設定を確認します。
ナビ本体用リモコンで『モードボタン』を押し、メニュー画面から **機能設定** ⇒ **システムの補正** ⇒ **センサ補正** を選び画面を確認します。
(センサ補正の確認は“ナビ本体用取扱説明書”の「その他の機能」を参照してください。)

（手順5で車速パルス数の表示が「-----」になった時は、初期設定が完了していないか車速度信号の取り出しが正常でない場合が考えられますので、接続を確認した後、上記4~5を繰り返してください。）

ご注意

- 初期設定中は、自車位置マークが正しく動かないときがあります。
- 車種・年式・エンジン型式により車速パルス数が異なりますので、ナビゲーションユニット本体を別の車両に積み変えた直後は実際の移動距離と異なることがあります。また、タイヤを交換された場合も同様です。

自車位置精度と自動補正について

- 自車位置精度は上記“接続確認のしかた”による初期設定完了後、GPSの受信状態の良い時に、直線道を一定速度で走行しますと自動補正が働き、徐々に精度が向上していきます。
〔自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。〕
〔見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働き易くなります。〕
- これらの作業が終了しますと、直線走行1kmにつき約10mの自車位置精度を得ることができます。

付属品

箱の中には、構成部品の他に下記の付属品が入っています。(構成部品については、本文を参照ください。)

(CU-H9000)

- ナビ本体用取扱説明書
- サービス相談窓口一覧表
- ミュージックホルダプリインストール楽曲一覧表
- 地図データベース・ランドマーカー一覧表
- VICS情報有料放送サービス契約約款
- 取付要領書(本書)
- ショートピン
- Javaシステムコンテンツ取扱説明書
- 保証書

(CU-H9000VP)

- ナビ本体用取扱説明書
- サービス相談窓口一覧表
- ミュージックホルダプリインストール楽曲一覧表
- 地図データベース・ランドマーカー一覧表
- VICS情報有料放送サービス契約約款
- 取付要領書(本書)
- テレビ部取扱説明書
- Javaシステムコンテンツ取扱説明書
- 保証書